

## 宜野湾高校の生徒達へ（68）

2020.12.25

本日、2学期終業式がありました。再確認する意味で、校長挨拶を掲載します。

2020年が、終わろうとしています。

今年は新型コロナウイルスが、学校生活に大きな影響を及ぼしました。休校、学校行事の中止等がある中、生徒会の皆さんは、「何かできることはないか？」と考え、球技大会の実施に向け取り組みました。

先生方も実施に向けた対策について確認し、生徒会も感染予防の徹底を校内放送で呼びかけました。球技大会・後夜祭では、皆さんがルールを遵守し、球技大会・後夜祭でG1生の**団結力**、**新たなG1生の進化**を見届けることができました。

ところで、私は学校行事後の皆さんの感想に目を通すのが楽しみです。最近では「落語」や「創立40周年記念講演・式典」、「MASA MAGIC」の感想がありました。皆さんの感想を読むと、その人らしさが表れているし、こんなことを感じていたのかと感心もします。

皆さんの感想を妻に話したりすると「G1生って、すごいね！」と言ってくれ、私も悪い気はしません。皆さんの感想を読んでいると、皆さんの成長を実感できるので、それが楽しみに繋がっているんだと思います。

教師は、生徒の成長を感じる時が、教師になって良かったと感じる瞬間です。そう感じる時間が長い学校が、**いい学校**なんだろうと思うし、そのような学校にしていきたいという気持ちは皆さんも同じでしょう。

そういえば、**創立40周年記念講演**の感想の中で、共通する内容が

「宜野湾高校の先輩方が築いてきた**伝統を引き継ぎ発展させたい**、

「宜野湾高校の歴史を初めて知り、それに**恥じない宜野湾高校生になる!**」

でした。

教頭の学事報告にもあったように2学期の皆出席者・成績優秀者が昨年より増え、要指導生徒数は半減しました。コロナ禍の中で、皆さんはよく頑張ったと思いますし、皆さんがこれからの宜野湾高校の**新しい歴史を創り上げて**いっていることを頼もしくも思います。

コロナと言えば、以前、皆さんに「コロナ世代」の話をしました。

私たちは、これまでに体験したことのない事態に遭遇している。そのような状況で、私たちは「**どんな困難にも対応できる強靱な精神力**を持ち、コロナを乗り越えた世代」だったと言えるように「**不動心**」（強く動じない心、マイナスをプラスにできる力）をもって対応していこう！

皆さんは、コロナ感染予防策を行う際、相手を思いやる優しさを持ち、対応してきました。そのおかげで、大きな混乱もなく本校は対応することができました。皆さんに感謝です。

結びに、これからもコロナ感染予防を意識して行動する必要があります。年末年始はコロナ感染予防を含め、体調管理に気をつけ、事件・事故に巻き込まれることなく、**元気な姿**で三学期の始業式を迎えられることを願い、校長挨拶とします。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎

